

IT調達(データ通信サービス契約)の問題点

ハード(コンピュータ)・ソフト・運用サービスが一体として同一の受注業者に長期にわたり丸抱えされることになり、途中で他の業者に替えられず、競争がなく不透明。

巨額の残債(社会保険庁の場合2000億円)が国会審議を経ず、隠れ借金として存在。

役人の天下り先が受注企業本体や子会社に確保されている。